知財戦略（オープン・クローズ戦略）に向けた取り組み

オープン戦略

オープンソース
標準化・規格化

新技術情報提供
システムの活用

技術協会
の設立

知財化・特許

クローズ戦略

総合的支援技術

アセットMシステム
データーベース
衛星ＳＡＲ　通信技術
打音検査
超高耐久コンクリート　非破壊探査
マルチコプター
災害対応ロボット

ソフト系

ハード系　橋梁トンネル点検
ロボット　溶射材料

個別要素技術

センサー関連技術etc
画像処理
信号処理
磁気・マイクロ波・音響
X線・中性子・レーザー　発光材料

地方自治体での実施を含めインフラ維持管理の総合的支援を技術経営の観点で支援するビジネスモデルの提案

海外への技術輸出、技術移転の円滑化のため産学連携体制の支援

個別要素技術を連結させるシステムついては標準化戦略を基本に

個別要素技術については、知財戦略を基本に

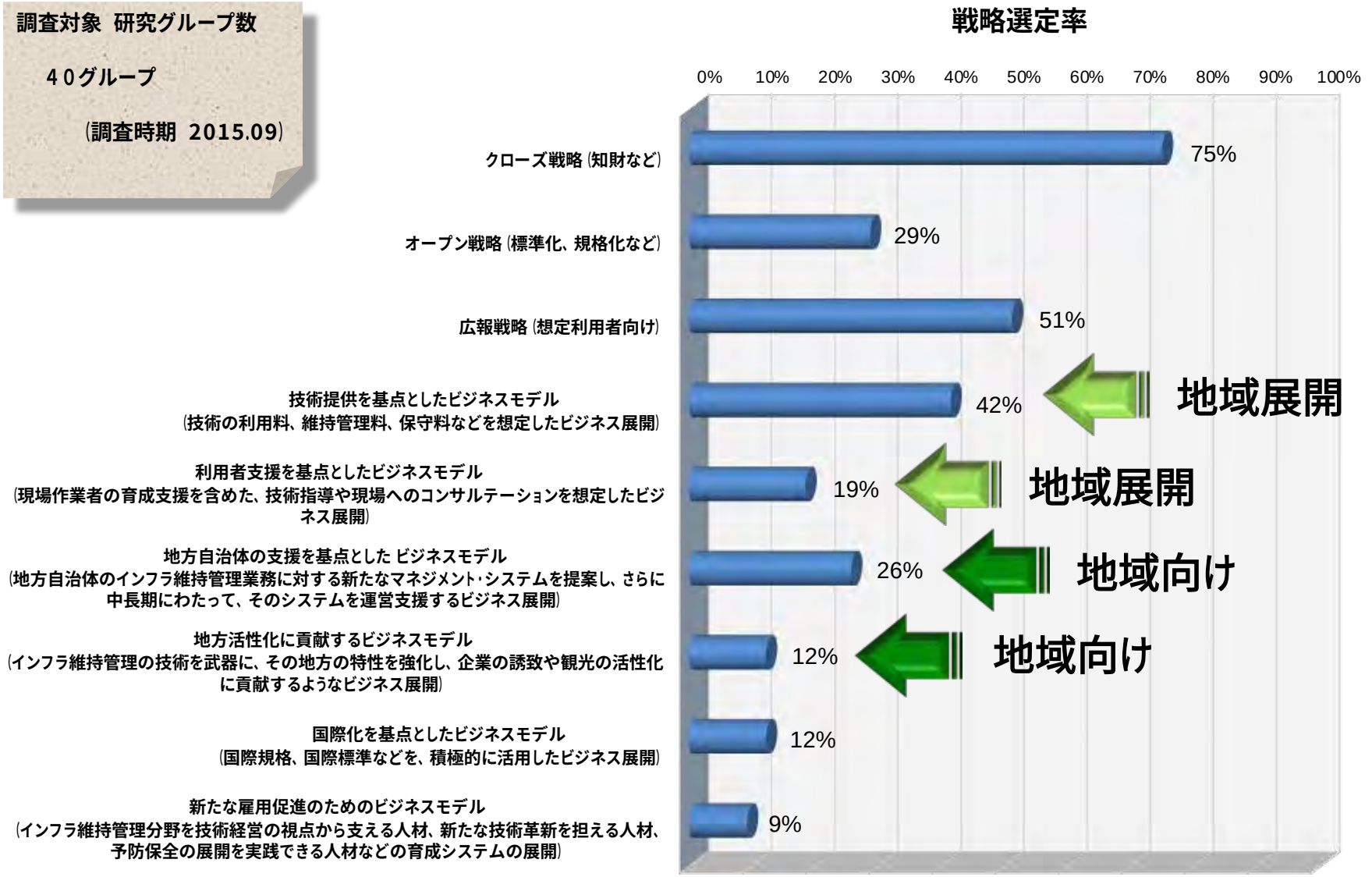
出口戦略調査

・各研究テーマの現状把握及び研究支援
・研究成果を多様な価値へと変換させ、社会への貢献度を高めるシステム構築
（研究成果統合化支援，社会実装後の活性化支援）

調査対象 研究グループ数

４０グループ

（調査時期 2015.09）



期待されるビジネスモデルのパターン

プランB
テーマ独自の
事業展開

プランA
地方大学を通じた成果展開

プランD
他のSPインフラ課題へ展開、課題
のマージ、テーマの統合

産学連携
イノベーション支援

地域活性支援

技術情報

マネジメント

ビジネスモデル

インフラデータ

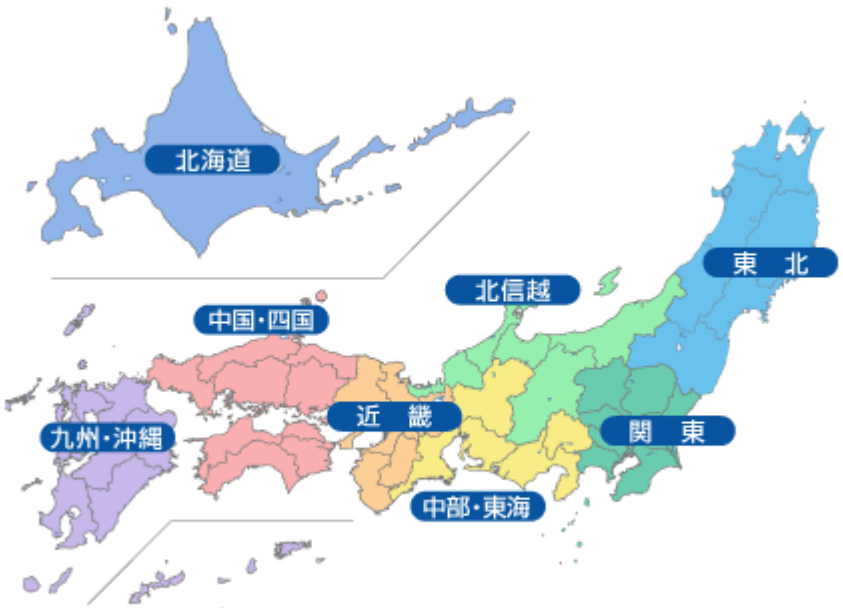
人材育成

ICTに基づく業務支援

人材教育支援

プランC
省庁、国の研究所を通じた
成果展開

プランE
重要拠点を永続的な
業界支援組織に発展

国内連携から地域展開へ

◇目標
　開発する高精度・高効率な点検・情報通信・ロボット技術などを融合したアセットマネジメントシステム（AMS）を開発し、連携する地域の大学を拠点に、広域ブロック単位で１つずつの自治体に稼動可能なシステムを提示する。